

12年の植え付け 美らサンゴ316本

県に活動報告

チーム美らサンゴの前田浩之キャプテンら代表が5日、県庁に平田大一・文化観光スポーツ部長と写真左二を訪ね、恩納村で316本を植え付けるなど2012年の活動実績を報告した。サンゴの植え付けには181人が参加、植え付けたサンゴが産卵する場面の撮影に成功したことも報告。



昨年11月に糸満市で開かれた「全国豊かな海づくり大会」で農林水産大臣賞も受賞している。

美らサンゴは、沖縄タイムス社や琉球放送、沖縄海邦銀行、沖縄電力、オリオンビール、沖縄ヤマト運輸の県内6社と全日本空輸など県外8社で構成。恩納村漁業協同組合など地元関係者の協力を得てサンゴの植え付けや啓発イベントなどを実施しており、今年で発足10年を迎える。

県内企業をまとめるオリオンビールの前田キャプテンは「引き続き啓発活動を含め、沖縄の自然保護、サンゴの再生に積極的に関わっていききたい」と抱負を語った。平田部長は「企業が連携し地道に取り組み美らサンゴの活動は、行政としても学ぶところがある。これから息の長い活動で頑張ってもらいたい」と期待した。